

物流

ムラタでは、製品をお客様にお届けする際の物流における環境負荷を最小限に抑えるよう、モーダルシフトの推進や梱包・包装の削減などに努めています。

物流における環境負荷削減

ムラタの物流における環境負荷は、燃料使用によるCO₂排出が最も大きいと認識しています。こうした環境負荷の削減のために、輸送効率の向上やモーダルシフトへの切り替え、天然ガス車の導入などの対策を進めています。また、製品の出荷における包装材料の削減にも取り組んでいます。

輸送時における取り組み

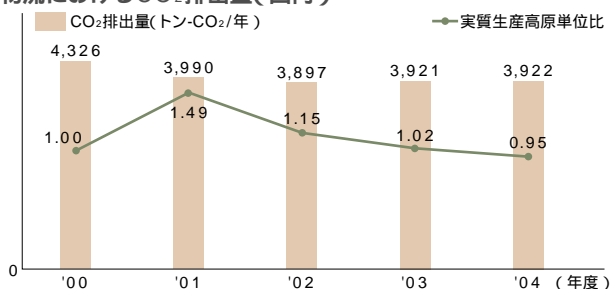
2004年度の国内製品輸送によるCO₂排出量は3,922トン-CO₂となり、2003年度に比べ1トン-CO₂の増加となりました。このうち、トラック燃料使用によるものが全体の99%を占めています。そのため、輸送手段をトラックからJR貨物列車に変えるモーダルシフトを重点課題として取り組んでいます。2004年度は、鉄道による新規輸送ルートをつか所増やしました。これにより、CO₂排出量を2003年度に比べ14トン-CO₂削減することができました。

ムラタでは、物流を外部に100%委託しています。そのため、委託先に対して、アイドリングストップなど、省エネルギー運転の指導を実施しています。また、天然ガス車の導入の計画も依頼しています。

また現時点では、海外における物流は把握できていませんが、今後はデータの把握から開始し、輸送時のCO₂排出量削減を拡大していきます。

DATA 物流におけるCO₂排出量

物流におけるCO₂排出量(国内)

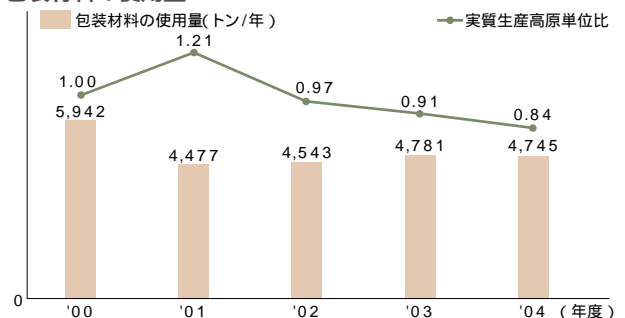


梱包・包装での取り組み

2004年度の包装材料の使用量は4,745トンとなり、昨年度と比べ36トンの削減となりました。2004年度は、主に「包装用ダンボールの通い箱化」「リールリユースの拡大」の2点を重点的に取り組みました。前者は、関係会社間の取引に使用するダンボール箱をリターナブル仕様に切り替えていく取り組みで、今年度は2工場において試験的に実施しました。後者は、包装材料であるテーピングリールのリユース(再使用)を広げていく取り組みです。これまでもテーピングリールは、製品がお客様のもとに届いた後、まだ使えるものをリールメーカー経由で引き取り再使用していましたが、この引き取り先をさらに増やすよう取り組んでいます。

DATA 包装材料の使用量

包装材料の使用量



低公害車の導入

ムラタでは、業務に使用する車両を低公害車に切り替える取り組みを行っており、2004年度には14台のハイブリッド車を導入しました。今後さらにハイブリッド車やその他の低公害車への切り替えを促進し、2010年度末に切り替えを完了させる予定です。



低公害車の例